



人と人との
結びつきを深める

株式会社DALE

高崎市

- ▶ 代表者: 和田 鮎人
- ▶ 設立年月日: 2019年10月25日
- ▶ 資本金: 30万円
- ▶ 従業員数: 2人

- ▶ 住所: 高崎市倉賀野町2859
- ▶ TEL: 027-382-6818
- ▶ Mail: bamo1108@icloud.com
- ▶ URL: https://www.instagram.com/dale_2019

当社HPへは
こちらから→



企業紹介

2019年に創業。創業当初農家と、直接取引をする飲食店様への物流を担う八百屋事業として「食べごろ商店」をスタート。現在は移動販売を主に高崎市内を回り野菜販売を行っています。また、移動販売の傍ら、個人宅への野菜配達も行っています。群馬県内の農家と直接取引のため、価格の変動も少なく、新鮮なお野菜をお届けすることで、飲食店様、個人のお客様から信頼を得ています。

『美味しいを食卓へ届けお客様の笑顔を一人でも増やす』を企業理念とし、お客様満足のために鮮度の良い野菜をお届けするためには労を惜まず、お客様の笑顔を一人でも多くすることを心がけています。

経緯・背景

3年前に北軽井沢の農家に住み込みで働き、そこで食べた朝採れの野菜に感動し、この感動をお客様に届けたいと思ったことがきっかけで始めました。

実際に野菜販売を始めると、新鮮な野菜を食べた人は少なく、本当の野菜の新鮮さを知らない人が多いという現実がありました。時代背景もあり、近年は食に対して意識が高くなってきているお客様も増えてきていますが、その逆に野菜の高騰等、格差が広がってきているのも現実だと事業を通して感じました。

当社はその格差をなくすため、多くの方々に平等に新鮮な野菜をお届けることを目標にしています。

具体的な取組

- 1 当社のビジネスは、県内、県外の農家様より、独自で仕入れた新鮮野菜を宅配で家庭に届ける事業と、飲食店への野菜販売、企業とパートナーを組み地域に密着した移動販売のサービスを展開しています。
- 2 また、高齢化が進み衰退している農家の現状や食品ロスに対する課題に対応するため、加工場・農地の再生に着手しています。廃棄野菜・果物の農作物をレスキューし、2次加工するアップサイクルジュースの生産や、後継者がいない農地を譲り受け農作物の栽培を農家と一緒に取り組む『地域再生プロジェクト』を始動しました。



成果・効果

当社は、地域の持続可能と食の安全性、それを食べるお客様の健康を実現しています。

生産者、お客様、企業と繋がることで、社会に良い循環を生み出し、また農家と直接繋がることで社会課題にも気づき共に取り組むことができます。

まさに食で繋がった、農家とお客様との共創を生み出していると実感しています。



当社にとってのSDGsと、その展望

『当社にとってSDGsとは農家とともに歩む責任を担っています。』

世界で問題になっている食品ロスの問題。特に農家の食品ロスは莫大な量になっています。昨今、気候変動等で農作物が溢れてしまい、出荷すれば赤字になり、廃棄を免れない農作物が増えてきています。そんななか当社では通年、正規値段で買い取り農家の生活、作った努力、労力が少しでも報われるよう活動しています。当社では、まず地元の消費者と農家との距離を縮める役目をしていきます。距離が縮まることで、鮮度な状態でお届けすることが可能になり、新鮮も保てる期間が増え、消費できる期間が増えます。また、規格外品、廃棄になってしまう農作物を、地元が受け皿になることで、食品ロスの意識が高まり、SDGsの先進県になれると思っています。